

Title	第一巻第一号目次 次号予告 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	三田学会
Publication year	1909
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.1, No.1 (1909. 2)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090201--003">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19090201--003</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

大隅伯爵文 報知新聞所載 生駒翁著 本日發賣

# 菊版類美本

菊版類美本、約二百餘頁  
男爵肖像邸宅寫真數個  
定價八拾錢、小包料八錢

大隅伯爵文、報知新聞所載、生駒翁著、本日發賣。菊版類美本、約二百餘頁、男爵肖像邸宅寫真數個、定價八拾錢、小包料八錢。右版彩色書寫真版百個、定價五十錢、小包拾貳錢。有樂社、振替三六〇番。

# 地球週遊

菊版彩色書寫真版百個  
定價五十錢、小包拾貳錢

本誌に著者が朝日新聞社に催された一連の旅行と其に對して、各國を巡遊して其當時東京大阪朝日新聞紙上に連載して比類なき好評を博したる太平洋小島、北米小島、大西洋印事、後の倫敦、レミン、トシ、巴里、半面、伊國、東歐、中歐の八偏を收む、量に好評出版を重ねたる大英遊記の姉妹卷なれば、輕快なる筆致、豊富なる内容、其に前者に譲らず、東京丸の内有樂町、有樂社、振替三六〇番。

## 三田學會雜誌第一卷第一號目次

### 論 說

銀行の小切手保證を論ず 青木徹二  
エミール、ライヒ氏の史學研究法 田中萃一郎  
Some aspects of charity and providence. E. H. Vickers.

潜在意識に就て 川合貞一  
減債基金の眞價 星野勉三  
社會學上より見たる同種意識説と模倣 田中貞一  
説との比較 高橋竹葉

### 時 評

社會主義の取締—新政黨組織説—文藝院設立の  
風評—袁世凱氏の辭職

### 雜 錄

米國工業管見 高橋誠一郎  
空想の心理 小林乳木  
經濟學史上の一奇觀 小川節  
新著批評

## 次號豫告

三月一日發刊せらるべき本誌の執筆  
者は左の如くに候

稻垣 末松 林 毅 陸  
堀江 歸一 星野 勉三  
馬場 孤蝶 マクラレン  
福田 徳三 清水 澄

尙ほ頁數の都合により原稿に多少の  
増減可有之候  
其他時評、雜錄の外、名著評論等の欄  
を設くべく候

原稿ハ凡テ左ニ宛テ御送附被下度候

市内麻布區狸穴町四十一番地

星野勉三

原稿ノ切期日ハ毎月十日トス

事務上ノ一切ハ

市内芝區三田二丁目慶應義塾内

三田學會

ニ宛テ御送附被下度候

雜誌ノ御注文ハ凡テ發賣所へ宛テ御

申込被下度候

定價 一册金貳拾錢 郵税金貳錢  
十二册金貳圓貳拾錢 郵税共  
郵券代用一割増

明治四十二年二月二十八日印刷  
同四十二年二月一日發行

發行兼編輯人 神戶彌作  
東京市麻布區新堀町七番地

印刷人 中野鏝太郎  
東京市芝區三田二丁目慶應義塾内

三田評論社改題

發行所 三田學會  
東京市芝區愛宕町三丁目二番地

印刷所 東洋印刷株式會社

發賣所 東京市京橋區築地二丁目二十五番地  
初山書店

取次賣捌店

神橋 有斐閣 上田屋  
日本橋 至誠堂 北隆館  
京橋 東海堂 良明堂  
京都 東枝吉兵衛 清水實文館  
大坂 盛文館 杉本書店  
久留米 菊竹金文堂  
臺灣 新高堂  
清國 濱井書店

# 三田學會雜誌第一卷第一號

論 說

## 銀行の小切手保證を論ず

青木徹 一

小切手に引受(通俗に所謂支拂保證)の制度を認むべきや否やに付ては可否の説區々にして一定せず吾國に於ては米國に行はる、(Certifying)の例に倣ひ小切手の支拂保證を爲すの習慣を生じ其法律上の效力に付ては疑問あるも實際上便宜として愛用せらるゝが如し東京手形交換所は小切手の引受を認め其效力を一定すべき希望を發表せり外國の立法例に於ても小切手の引受を認むるものと然らざるものとあり經濟上爲替手形は信用證券にして小切手は支拂證券なりとの理由を固執せる諸國に於ては法制上爲替手形にのみ引受を認め單純なる支拂機關たる

銀行の小切手保證を論ず